

会 議 録

会 議 名	第3回 和泉市総合計画審議会
開催日時	平成 27 年 12月 18日 (金) 午後2時から午後4時10分まで
開催場所	和泉市役所 3号館 市議会委員会室
出席委員	(委員) 山本秀明委員、石原日出子委員、末下広幸委員、松田義人委員、岡博子委員、 阪口吉男委員、西田清委員、松田良輝委員、浅井雅昭委員、上西恵子委員、 椎場光穂委員、橋本良孝委員、岡本雅彦委員、今川晃委員、村上あかね委員、 菊池隆夫委員、佐藤英治委員、戸江雅一委員 ※今城巧副会長、山本益也委員、篠原賢太郎委員は欠席 (事務局) 宮崎副市長、森吉公室長、黒木理事、小泉政策企画室長、 佐々木企画経営担当課長、門林総括主査、蓮池主査、樋川主事
議事次第	1 和泉市人口ビジョン (案) の検討について 2 和泉市総合戦略 (案) の検討について 3 和泉市総合戦略 (修正案) について 4 答申案について 5 その他
会議資料	・会議次第 ・資料1 総合戦略(案)・人口ビジョン(案)へのご意見 (前回調整中及び追加) ・資料2 人口ビジョン (修正案) ・資料3 【新旧対照表】和泉市人口ビジョン (修正案) ・資料4 和泉市まち・ひと・しごと創生総合戦略 (修正案) ・資料5 【新旧対照表】総合戦略 (修正案) ・資料6 <別冊参考資料 (修正案)> 具体的な事業 ・資料7 答申 (案) ・資料8 総合計画(案)へのご意見 (12/10㍻分) ・資料9 第2回 会議録 (案)
会議の要旨	・和泉市総合戦略(案)、和泉市人口ビジョン(案)について検討を行った。 ・本日の意見を踏まえ、修正箇所を会長とりまとめの上、総合戦略(案)及び人口ビジョン(案)に対する答申を提出することとした。
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 要点記録
記録内容の確認方法	<input type="checkbox"/> 会議の議長の確認を得ている <input checked="" type="checkbox"/> 出席した委員全員の確認を得ている <input type="checkbox"/> その他 ()
その他の必要事項	傍聴者 2名

発言者	審 議 内 容 (文中敬称略)
司会	<p>■ 開会</p> <p>定刻となりましたので、ただ今から、第3回和泉市総合計画審議会を開催させていただきます。委員の皆様方におかれましては、年末の公私ご多用のところ、本委員会にご出席を賜り、厚く御礼申し上げます。</p> <p>本日の会議につきましては、今城副会長、山本委員、篠原委員がご欠席ですが、委員の半数以上にご出席いただいておりますので、会議は有効に成立している旨、ご報告させていただきます。</p> <p>続きまして、お配りしております資料の確認をさせていただきます。 (資料確認)</p> <p>ここで、会議録の作成について、再度、ご説明いたします。</p> <p>本会議の会議録作成のため、発言内容を録音させていただきますが、会議録作成後は録音内容を消去いたします。録音のため、お手数ですが、ご発言の際はマイクのご使用をお願いいたします。また、会議録については、発言者の氏名を公表して作成しますことを併せてご了承願います。</p> <p>それでは、これより議事進行は今川会長をお願いいたします。よろしくお願いいたします。</p>
今川会長	<p>皆さん、こんにちは。よろしくお願いいたします。</p> <p>今回で本審議会も3回目となりますが、今日は、前回に引き続き、総合戦略(案)及び人口ビジョン(案)について審議いただきます。本日のご意見を踏まえまして、私の方で修正箇所をとりまとめ、総合戦略(案)及び人口ビジョン(案)に対する答申を提出いたします。審議の回数が少なくて申し訳ございませんが、ご了承いただければと思います。</p> <p>答申の内容や様式等につきましても、後ほど、委員の皆様からご意見をいただきたいと思っております。</p> <p>それでは、次第に従い、会議を進めさせていただきますが、本日の会議は16時を終了の目途としておりますので、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。</p>
今川会長	<p>■ 和泉市人口ビジョン(案)の検討について</p> <p>案件1 和泉市人口ビジョン(案)について検討を行います。人口については、前回会議の最後に「合計特殊出生率」の考え方について審議が必要であるというご意見がありました。また、資料1の項目42におきましても、関連した意見が出されております。</p> <p>資料2の「人口ビジョン(修正案)」につきましては、こうしたことも踏まえて一部修正箇所もありますので、説明を受けたうえで、委員皆様方のご意見を頂きたいと思っております。</p> <p>それでは、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	(資料2、3について説明)
今川会長	事務局から説明がありましたが、「合計特殊出生率」の設定に関する考え方も出ていま

<p>今川会長</p>	<p>すので、ただ今の説明について、ご意見、ご質問がございましたらお願いいたします。</p> <p>(意見等、なし)</p> <p>人口推計については一定の根拠のある条件を設定する必要がありますが、確かに、平成52年とは言え、合計特殊出生率2.07は非常に高い数値だと思います。しかし、事務局が修正した22ページの「人口の将来展望」にもありましたが、国が要請している「地方人口ビジョン」と「地方版総合戦略」の役割を踏まえると、現時点では国が示しているもの以外にないように思われますので、現在、和泉市の人口ビジョンで推計を行っている条件設定はやむを得ないと考えられます。</p> <p>そういうことで、今回の人口ビジョン(案)についてはよろしいでしょうか。「本当にこれほど維持できるのか」「これほど出生率が増えるのか」等、容易には納得できない面もあると思いますが、一応人口ビジョンとして設定されていますし、国が示した推計値を基に算出するしか方法がないというのが現状かと思います。</p> <p>ただ、これはあくまでも推計値であり、この推計値に近づけるための具体的な取組みが和泉市に期待されますし、また、行っていただく必要があります。</p>
<p>山本(秀)委員</p>	<p>総合戦略と人口ビジョンをセットで作成するよう、国から要請があったということですが、総合戦略は5年間の実施期間で、目標人口は平成52年というかなり先の目標となっています。5年後の平成32年の推計は上位値で186,000人になっていますが、総合戦略との整合性はどのようになっているのでしょうか。</p> <p>また、その時点での検証等はあるのでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>資料4として総合戦略の修正案も配布していますが、その9ページに今回の計画人口を186,000人として、人口ビジョンで示している平成32年3月末時点の人口を記載しています。</p> <p>なお、検証も必要と考えていますので、適切な時期に取り組んでいきたいと考えています。</p>
<p>山本(秀)委員</p>	<p>資料4の9ページに上位値として記載されていることを確認しましたので、結構です。</p>
<p>今川会長</p>	<p>一生懸命に頑張ってもなかなか進まない場合、5年先に恐らく見直しが行われて、和泉市独自の新たな計画を立てられ、進行されるのではないかと思います。「実際には、なかなか難しい」と皆さんはお考えかもしれませんが、今は国の要請も出ていますので、前向きにチャレンジするしかないのではないかと思います。よろしいでしょうか。</p> <p>(その他、意見等なし)</p>
<p>今川会長</p>	<p>それでは、人口ビジョンについては、このような形で成案としてまとめたいと思います。</p>

今川会長	<p>■ 和泉市総合戦略（案）の検討について</p> <p>次に、案件2 和泉市総合戦略（案）の検討を行います。進め方については、前回同様、一定の項目を区切りながら、資料1に記載されている内容を事務局に説明していただき、その後にご意見を出された各委員から意見の補足や、事務局の対応方針に対する意見等がありましたらご発言いただきます。その際、各委員におかれましては、時間の関係もごさいますので端的にご発言をお願いいたします。</p>
今川会長	<p>●No.43～47 について</p> <p>それでは、まず、資料1の項目43～47について事務局より説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>(資料1 No.43～47について説明)</p>
今川会長	<p>それでは、前回と同じように、ご意見を出された委員から補足意見等がありましたら、お願いいたします。</p>
松田委員	<p>◆ No.43について</p> <p>No.43について、どこの市も、国からの要請なのでかけ離れたものになることはないと思いますが、市の姿勢、今後の方向に関して、堺市から流入する人口が多いので、その点をきちんと踏まえて、他市の動向もきちんと見ていくという方向はしっかりと持っていたきたいと思います。</p>
事務局	<p>◆ No.44、47について</p> <p>No.44、47にも出ているように、文言として「展望を持って日本一のまちづくりを目指す」等とありますので、人口が減ると推計される中で難しいとは思いますが、できるだけそのような展望を見出せるような内容を盛り込んでほしいと思います。そのように受け止めていただけたらと思います。</p>
事務局	<p>堺市等、近隣市町の動向については、参考にする必要があると考えています。前回の審議会のご意見等も含めまして、重点施策の中でこの後に説明させていただこうと思いましたが、堺市等の近隣市町から和泉市への流入が一番多いことを踏まえ、同居・近居支援という項目も付け加え、施策も考えています。</p> <p>また、「大阪一、日本一」という文言については、次回以降、総合計画を審議していただきますが、総合計画の将来ビジョン、将来都市イメージのところでそういうことを強調できないかということを引き続き検討したいと考えています。</p>
今川会長	<p>よろしいでしょうか。いずれにしても、前向きな姿勢を示してほしいというご意見ですので、総合計画の方でよろしくをお願いいたします。</p> <p>他に、発言されていない委員の方からご意見はございませんか。</p> <p>◆ 合計特殊出生率の表示について</p>

浅井委員	<p>国が示している出生率2.07は、初めて聞いた時に違和感を覚えました。1カップルから2.07人の子どもができるということは、子どもを3人産むことを目標にすると2.0人を超える計算になります。確かに、立派な文章ができていますが、市民に2.07人が目標だと言ってもイメージしにくいと思いますし、どのように子どもを増やしていくのか、あるいは子どもが生まれてから、どのように育てていくのかという問題があります。</p> <p>昨日、2016年度の子ども手当が発表されましたが、大阪府では高校の無償化も動いています。和泉市については、中学校まで給食を自らで作っていますので、PTAから見ても、和泉市の教育は非常に頑張っていると思われれます。ただ、もう少し頑張れば、「和泉市は子どもを産み、育てる環境として非常に良い」と思われるのではないかと思います。</p> <p>確かに、和泉市は頑張っておられて、最近では中学校に新しい給食室がつけられましたし、海外からも給食の視察に来られているようです。言わば、世界で一番、給食事業で進んでいる市が和泉市かもしれません。これほど頑張っているのに、他にどうすれば1家庭で子どもを3人つくってもらえるのか、そのために和泉市はどのようにするのか、その点をもう少し具体的に戦略的などところに入れると市民に分かりやすいのではないかと思います。</p>
今川会長	<p>合計特殊出生率なので、どうしてもそのような数字になりますが、確かに、市民に示す時には2とか3という数字の方が分かりやすいと思います。一方では、これ自身が「産みたい人に産んでもらう環境をどうつくるか」ということで、身体的な都合で出産できない方もおられますし、あるいはそれほど希望されない方もおられる等、その辺りのバランスもありますので、「3人産みましょう」と言うことも必要としても、市民にどうアピールするかということについては、行政の方も苦慮される現状ではないかと思います。</p>
浅井委員	<p>「子どもを産み育てるなら和泉市で」というくらいの表現でも良いと思います。</p>
今川会長	<p>それでは、合計特殊出生率については、これでよしいということで、市民向けにアピールする時には検討してほしいということですね。</p>
浅井委員	<p>はい。</p>
今川会長	<p>他にご意見、ご質問はございますか。</p> <p>(意見等、なし)</p>
今川会	<p>それでは、進めさせていただきますので、資料1のNo.5~7の説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>●No.5~7について (資料1 No.5~7について説明)</p>
今川会長	<p>まずは、ご意見を出された委員から、ご質問や追加説明等がございましたら、お願いい</p>

	たします。
村上委員	<p>◆ No.5 女性の労働力率が低い理由について</p> <p>No.5 についてデータを示していただき、ありがとうございます。その上で、今後の分析に期待したいのですが、女性の労働力率が低いのは、豊かな世帯が多くて「働かなくても良い」と本人が思っているからなのか、本当は「働きたい」と思っているのにスキルがなくて働けないのか、あるいは雇用の場がないのか、他の項目と関連づけて分析していただきたいと思います。</p>
事務局	<p>ご指摘いただいたように、豊かな世帯が多いから女性の労働力率が低いのか、あるいは働きたくても働けないのか、その2点に関して、この調査結果について一度確認し、次回に報告させていただきたいと思います。</p>
今川会長	<p>分析としては重要なご指摘ですので、是非、検討していただければと思います。一般的に、そのように思いこまれている傾向がありますが、働く意欲があっても働ける環境がなくて今のような状況になっているのか、あるいは、特に企業の場合は、出産や子育てのために休職した場合、復帰ができない環境になっている企業も多々あるような指摘もありますので、そういうこともあって働くことを諦めているのか、いろいろな要件があると思います。</p> <p>国の資料等を見ましても、男女共同参画が進んでいる国ほど出生率が高くなっていますので、やはり、男女共同参画には力を入れていただきたいと思います。男性も女性も生き生きと暮らせる社会をつくることによって、男女の助け合いや家庭内での支え合いがきちんとできて、社会との循環が上手くいくのではないかと思います。</p>
佐藤委員	<p>女性の労働力率が低いというデータには、正社員も非正規社員も両方が含まれていると思います。和泉市の幼稚園や保育所、ららぽーと、病院等、いろいろなところを見ますと、女性が活躍されていて、大阪市内にも働きに行かれていますようですが、それでも女性の労働力率は低いのでしょうか。</p> <p>国の施策も、女性が働きやすい環境づくりや勤めやすい環境、社会に出て行ける環境づくりを進めていますので、和泉市としても是非ともそういう施策を進めていただきたいと思います。</p>
今川会長	<p>最初のご質問については数値に出ているということですが、事務局から説明はありますか。</p>
事務局	<p>総合戦略において、就業分析の項目で、国勢調査に基づいた数字を掲載していますが、全国と比較しますと大きく乖離していますし、大阪府との比較でも下回っているという状況です。特に、全国の値が高くなっているのは、地方はパートで働いている方が多いので、女性の労働力が高くなっていると聞いています。女性が働ける環境づくりについて、保育</p>

今川会長	<p>所の待機児童の問題の解消等も含めて取り組みたいと考えています。</p> <p>よろしいでしょうか。それでは、意見を出されていない委員の方も含めて、ご質問、ご意見がございましたら、お願いいたします。</p> <p>(意見等、なし)</p>
今川会長	<p>それでは、こちら事務局の対応方針で進めさせていただければと思います。</p> <p>続いて、No.13～17について検討したいと思います。事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>●No.13～17について</p> <p>(資料1 No.13～17について説明)</p>
今川会長	<p>まず、意見を出された委員から、ご質問や追加説明がありましたら、お願いいたします。</p>
山本(秀)委員	<p>◆ No.16 KPIについて</p> <p>No.16のKPIについて、アウトカムになっていないという意見を出しましたが、これについてはアウトカム指標を設定していただいたということで、この件については結構かと思えます。</p> <p>ただ、私は1つの例を出しただけで、本来は全体的なことを言っています。つまり、「市が何をしたか」というインプットの数値よりも、最終的には、例えば、「まち・ひと・しごと創生」の「しごと」で言うなら、和泉市に進出する企業の数を増やすということが大きな目標になると思いますので、大きな目標についてはきちんとしたアウトカムの指標を、総合戦略の目的に沿った形で掲げておかなければならないと思います。そして、後のKPIはその目標を達成するための数値を挙げていくわけですが、事務事業としてのやり方が間違っているのであれば、変えていかなければならない部分も出てくると思いますので、基本目標という部分については、移転してきた企業数や転入してきた人の数等、明確な数字を掲げておかなければならないと思います。</p> <p>それから、KPIの指標については、担当課とも話をさせていただいたところ、それぞれの課からのボトムアップということで、行政評価のところでも議論しましたが、その点については理解していないところがあるのではないかと思います。それについては、政策企画室が担当になっているようですので、各担当課を指導するような形で進めなければならないと思います。何となく今の段階で達成できる数字を挙げるものではないと思います。また、これについては、分母を増やさなければならぬので、率を上げても人は増えないということを指摘しましたが、そういう意味で目的と違うKPIにならないよう、その点の指導もきちんとしていただきたいと思います。</p> <p>当初、これで進めるということでしたので、これで進めなければ仕方ありませんが、その点については変えられるような方向でも考えていただきたいと思います。できれば、基本的なアウトカムの指標はきちんと分かりやすく作っておくべきだと思います。</p>

今川会長	この計画自体は仕方がないとして、担当課が各課に対して、アウトプットではなく、アウトカムの方で真剣に捉えるようにと指導することも含めて活動してほしいということでしょうか。
山本(秀)委員	<p>時間がない中で答申を出すということですが、本来、基本的なアウトカムのところはきちんと出すべきだと思います。子育てのところは出していただきましたが、「まち・ひと・しごと」の「しごと」の部分で言うと、企業を増やしていかなければならないので、働ける場所としての企業の数等、明確な指標を KPI として作っておくべきだと思います。</p> <p>本日で答申を出すなら仕方がないかもしれませんが、そのことを前回の時も指摘させていただいたわけで、この項のことだけではありません。</p>
事務局	<p>前回の会議でご指摘を頂き、今回、指標については見直しを行っております。それについては、総合戦略の修正案のところで、後ほど見直した項目についてもご説明させていただきますので、ご意見がありましたら、後ほどよろしくお願いたします。</p>
山本(秀)委員	分かりました。
今川会長	他にご意見はございませんか。
岡委員	<p>◆ 待機児童解消に向けた取組みの推進について</p> <p>基本的なところで見落としていたのですが、総合戦略の資料4の13ページ「基本的方向(3) 子育てと仕事の両立支援体制の充実」の〈具体的な取組み〉として「待機児童解消に向けた取組みの推進」があります。その中の1つ目の「待機児童解消に向け、各保育所の定員増や認定こども園への移行促進等を推進します」というのは、子どもを預けやすくするという意味で分かるのですが、2つ目の「公立保育所について、こどもの人口、地域の保育の需給状況等を踏まえたうえで、民営化等を検討します」というのが、どうして待機児童解消に向けた取組みに結び付くのか分かりません。</p> <p>今、公立保育所と民間保育所の児童数は、公立を1とすると民間は1.8くらいになっています。さらに民間幼稚園等が認定こども園に変わりますと、ほとんど1:3くらいの割合で民間の保育所に通う子どもが増えていきます。そういう状況になろうとしている中で、公立保育所を民営化することが、どうして待機児童解消に結び付くのか、全く想像が付きません。これは待機児童解消の取組みではないと思いますので、この部分は削除していただきたいと要望します。</p>
事務局	<p>公立保育所については、最近新しい保育所をつくっていないので、施設もかなり古くなっています。保育所は、施設の規模と子ども1人当たりの面積等を踏まえて定員が定められますので、公立保育所については規模拡大が難しいところです。しかし、民間保育所の運営に法人が入ってこられた時には、当然、それよりも大きな規模の定員数で保育所を</p>

<p>岡委員</p>	<p>建てられますので、そういう観点からも待機児童の解消につながると考えています。ここにも「地域の保育の需給状況等を踏まえたうえで」と書いていますが、それを前提として、民営化により定員数が拡大すると考えて記載しています。</p> <p>そうであれば、公のすることは公立保育所にはないと言われているように聞こえます。和泉市全体の保育の内容そのものをレベルアップさせ、しっかりした保育をさせるためにも、簡単に民間に預けてしまうのではなく、公立としてリーダーシップをとれる保育を公が示さなければ、和泉市の保育の内容が低下してしまうと思います。そうでなくても、実際に働いている人たちが「民間は保育の内容が次々に変わる」と言っています。あるいは、4月にいた先生が6月には変わる等、そういう苦情も聞きます。そういう問題も、公が頑張っていると、それに近づけようとして民間も頑張ってもらえるようになりますので、一定の公の保育の必要性はあると思います。</p> <p>したがって、公立保育所について「民営化等を検討します」という文章を、計画の中に入れるべきではないと思います。是非ご検討をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>公立の役割がないというご意見ですが、決して公立としての役割がないということではありません。公立においては、財政状況等も含めて、規模拡大が困難な状態になっているというのが今の社会情勢となっています。そういう中で、需給状況等を踏まえて民間の協力を得るということは、行政にとっても大変に助かる場所です。また、民間が保育園運営、または認定こども園の運営をしていただくことに関しては、市もきちんと補助体制をとって支援をしていくことになっています。そのように官民が協働で対応していくという考えですので、この文言についてはこのまま残させていただきたいと考えています。</p>
<p>岡委員</p>	<p>官民が協働でこの事業を行うという意味が、この文章からは受け取れません。文言を変えるつもりがないということですが、「公立保育所について、こどもの人口、地域の保育の需給状況等を踏まえたうえで、民営化等を検討します」という文章をどのように読めば、官民協働で進めようとしていると受け取れるのでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>今述べたような状況が背景にあるので、この文言を残したいという意味です。</p>
<p>岡委員</p>	<p>堂々巡りになりますのでこれ以上は申しませんが、それでは待機児童解消に向けた取り組みとは言えません。財政上の問題から、国の方針で、民間保育にしか国からの助成金が下りないという状況の中で、本当に公立保育所は難しい状況にあることも十分に分かっていますが、それでもやはり公立として頑張らなければならないところがあると思いますので、簡単にこういう言葉を書いていたかたくなくないということで申し上げました。</p> <p>これからの計画の中で「こういうこともしなければならぬかもしれない」というくらいなら良いのですが、「民営化等を検討します」というのでは、和泉市はやる気がない、公立はする気がないとか受け取れませんし、あまりにも単純過ぎるのではないかと思います。ただ、堂々巡りになりますので、これ以上は結構です。</p>

今川会長	<p>民営化したとしても、保育料も同じですし、行政がいろいろとチェックしますので、後のチェックのあり様等の問題も含まれてくると思います。</p> <p>その点は、今後、行政がきちんとしていただけたらと思いますし、この文章はいろいろと誤解があるかもしれませんが、「需給状況等を踏まえたうえで、民営化等を検討します」と書かれており、行政が対応できるのであれば公立でも対応できるということです。この先の検討については具体的な場で議論していただかなければならないと思います。この場は大きな方針だけを審議する場ですので、いろいろな選択肢があつて、その1つに公立も入っていて、その検討をこれから進めていくということだと思います。</p>
椎場委員	<p>この文章に関しては、公営よりも民営化した方がさらに良くなる、さらに前進した施設になるという気持ちで受け取っています。</p>
橋本委員	<p>民間保育園の立場から一言だけ申しますと、公立保育園には公立保育園の役割があつて、それぞれの地域に必要なだと思ひますし、民間保育園は民間保育園でそれなりの役割で地域に必要なとされる保育を目指しています。ただ、公立保育園の立場や民間保育園の経営上の問題等がいろいろと絡んでいる中で、今後、小さな子どもが減つて、自然と待機児童がゼロに向かっていくという中では、公立も民間も含めて柔軟に対応していかなければならないと考えています。</p>
今川会長	<p>それぞれに特色がありますので、「民営化等」といういろいろな選択肢の中で何が適切かということを見極めながら、民間なら民間、公立なら公立と検討課題の中で判断されるのではないかと思います。文言については、事務局と検討させていただきます。よろしくお願ひいたします。</p> <p>他にご意見、ご質問はございませんか。 (意見等、なし)</p> <p>それでは、次のNo.19～27の3に移ります。事務局より説明をお願ひいたします。</p>
事務局	<p>●No.19～27の3について (資料1 No.19～27の3、及び資料4について説明)</p>
今川会長	<p>では、まず意見を出された委員の方からご発言をお願ひいたします。</p>
菊池委員	<p>◆ No.19 「人材の活用」の表現について</p> <p>No.19について、事務局の対応方針で「人材の活用」は「人材をもののように捉えられるおそれもある」と言われていますが、「人材を活用する」「人材を積極的に投入する」という表現はどこでも使われています。先ほどのお話の中で、「和泉市としては」という前置詞があり、それが何かを意味するのであれば別にこだわる必要はないと思いますが、「人</p>

	<p>材を活用する」「人材を積極的に投入する」という表現が和泉市として「もの扱いするから使えない」という見解は、私には理解できません。</p> <p>ですから、和泉市がいろいろと人を支援し、教育し、その人のノウハウを向上させることはその人のプラスになりますが、市がそのように育成するのであれば、それを活用するのも1つの流れであり、「こういう目的があるから、こういう人を育成する」という流れからのシステムもあると思います。その2点だけ教えていただきたいと思います。</p>
今川会長	担当の方から何かありますか。
事務局	生涯学習の分野においては、まずは市民が自主的な学習活動を行い、支援を行う中で基本目標を掲げています、和泉市の人材データバンクへ登録していただき、広く地域のまちづくりの場で活躍していただくという意味で、市民自らの意思で地域へ出ていただいて活躍していただくことを目標としています。やっていただくための「活用」ではなくて、まずは市民の自主的な活動を前提として、それを支援するということに生涯学習における主眼があるのではないかと考えて、このような回答になっています。説明不足で申し訳ございません。
今川会長	よろしいでしょうか。
菊池委員	結構です。
村上委員	双方の意見はどちらも分かります。市が目標を達成するために「市職員を活用する」という表現なら分かりますが、「市民を活用する」と言った場合、例えば、障がい者や生活保護を受けている人等、税金をもらう方で、納めていない人もいますので、「活躍」や「活用」と言い過ぎてしまうとそういう人を排除してしまうことになると思います。国の会議で言われたことは、そういうことではないかという気がしますが、もちろん、皆さんに活躍していただくことは望ましいので、何か中間的な表現ができれば良いと思います。
今川会長	<p>他にご意見はございますか。ご意見を出されなかった委員の方々はいかがでしょうか。(意見等、なし)</p> <p>今の点は、活躍の場をどう支援していけるかということですので、いろいろと配慮しながら表現のご検討をお願いいたします。</p> <p>続きまして、No.30～49に移ります。事務局からご説明をお願いします。</p>
事務局	<p>●No.30～49 について</p> <p>(資料1 No.30～49 について説明)</p>
今川会長	今の説明に対して、まず、意見を出された委員からご質問、追加説明がありましたら、お願いいたします。

石原委員	<p>◆ No.41 コミュニティの活性化と担い手について</p> <p>No.41 について意見を出しましたが、対応方針として書かれている部分は、現在も取り組んでいただいている内容です。今以上に高齢化、あるいは認知症の問題等が深刻になる中で、様々に地域で支え合う基盤を確立しなければ、現実問題として、行政の方から下りてくる施策が地域できなくなっているという状況が出ています。したがって、対応方針は、今行っていて地域力の低下を抑えられないという中で、今後 5 年、10 年かけてどうしていくのか、もう少し掘り下げて考えていただきたいと思います。</p>
事務局	<p>この件については、担当課とも話をし、町会の加入率の低下、コミュニティの維持が非常に難しい問題であることは、事務局も担当課も認識しており、現状、取り組める課題として、即行える項目として今回のパンフレットの件を挙げています。町会と一緒にパンフレットを作成し、その中に加入のハガキを入れる等、できるところからの取り組みを行っているところです。</p> <p>また、KPI の方にも書いていますが、担当課の方では市民ラウンドテーブル、井戸端会議という形で、地域で話し合う場を持つような取り組みを 1 つずつ進めています。非常に難しい課題ですが、取り組みを進めていきたいと思っています。</p>
椎場委員	<p>自治会の加入の関係は長年問題になっていますが、一番の問題は新規の団地やマンションです。既存の自治会があるところに転入して来る人は、ほとんど加入されます。しかし、新しく開発されたマンション等については加入が全くありません。それに対応したら、少なくとも目標の 66% はすぐに達成できると思います。したがって、これについては、行政が建築の時から企業等の指導をしていただきたいと思います。</p>
今川会長	<p>大型マンション等は、管理組合以外に自主的にマンションだけの自治会もあるのでしょうか。</p>
椎場委員	<p>管理組合だけです。</p>
事務局	<p>今ご指摘があったように、マンション等ができれば、その部分は和泉市町会連合会に加わっていただけないという現状があり、現在、和泉市の町会加入率は 60% 強となっています。</p> <p>ご指摘があったように、今後、加入率をどのように上げていけば良いかというところで、具体的にはパンフレットの作成等を書いています。そういうことだけで加入率が上がることは考えていません。和泉市では市民活動支援事業「ちょいず」や井戸端会議等を設け、少しずつではありますが、地域での連帯意識を持たせて町会加入率を上げていきたいと考えて取り組んでいるというのが実態です。</p>
今川会長	<p>いろいろな方法で取り組んでいただくしかないかもしれません。全国的にも今は 6 割前</p>

石原委員	<p>後だと思えます。石原委員はよろしいでしょうか。</p> <p>避難行動支援等をはじめ、様々な事業が下りてきますが、町会自治会や地域の民生委員等に協力していただかなければできない施策等がありますので、受ける方が受けられなくなる事態が出てくるのではないかと心配しています。ですから、もう少し踏み込んで、現状はこうであっても、少しでもアップできるような施策を考えていただきたいと思います。もちろん、これは皆で考えなければならぬと思いますが、固定観念をなくし、発想の転換を図りながら、向上に向けて取り組んでいただければと思います。お願いします。</p>
今川会長	<p>集合住宅のご指摘もありましたし、いろいろと検討をお願いいたします。</p> <p>他に意見を出されていない委員の方も含めまして、No.30～49について何かありましたらお願いいたします。</p> <p>(意見等、なし)</p>
今川会長	<p>それでは、次の案件がありますので、総合戦略(案)の検討については、これまでとさせていただきます。よろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
今川会長	<p>ありがとうございます。本日いただきましたご意見の総合戦略への反映については、申し訳ございませんが、私にご一任いただきますようお願いいたします。なお、総合戦略に係る審議については、一旦本日で終了となりますが、今後も審議を進める総合計画において、総合戦略と重複する内容で修正をする箇所が生じた場合は、総合計画の方が上位にありますので、改めて総合戦略の見直しについて審議いたしますので、その際はよろしくお願いいたします。</p> <p>では、次の案件に移らせていただきます。</p>
今川会長	<p>■ 和泉市総合戦略(修正案)について</p> <p>それでは、和泉市総合戦略(修正案)について、検討を行います。資料4の修正案は前回会議でのご意見を踏まえ、総合戦略(案)を修正したものです。また、私からも文章表現等について見直しを指示させていただいた部分もあります。</p> <p>まずは、修正案の内容が適切であるかどうかを審議していただきたいと思います。なお、成案につきましては、先ほど頂いたご意見や、この修正案に対するご意見を踏まえて見直しを行い、取りまとめて参りたいと考えています。</p> <p>それでは、事務局より説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>(資料4、5について説明)</p>

今川会長	修正案に関して、ご意見、ご質問がありましたら、お願いいたします。
佐藤委員	<p>◆ P11 人口増のための保育・教育施設建設の必要性について 3つほど伺いたいと思います。まず、転入者数について、これから転入者数を増やすためにいろいろと努力をされるようですが、私が時々、男ばかりの井戸端会議をする中で、ある不動産会社の人から「和泉中央の方にマンションを建てたいけれども、今は制限があって建てられない」という話が出ました。その理由は、小学校の建設が追いつかないからということでした。せっかくマンションを建てて、若い人たちが住もうとしても、小学校や保育所の数が足りないので建設できないという状況について伺いたいと思います。</p> <p>◆ P14 図書館の有料化について 2つ目はP14の「図書館機能の充実」について、例えば、コミュニティ体育館等を利用する時は、同じ納税者でも利用料を払いますが、図書館は利用料を取っていません。納税者から見ると不公平ではないかと思うので、10円でも20円でもなぜ取らないのかという指摘が同じ井戸端会議で出ました。</p> <p>◆ P20 農林業の担い手の育成について 3つ目は、P20の「農林業の担い手の育成」についてですが、はっきり言いますと、農林業をする若い人はいません。井戸端会議の中で、息子たちの中で「農業をしたい」「農業に従事する」という人は誰もいませんでした。それは魅力がないからです。和泉市は、たくさんある農地に対して、どのような施策をとって担い手を育成するのか、見えないところがあります。やはり、もっと農業を魅力のあるものにしなければ、担い手は育成できないと思います。</p>
今川会長	事務局から何かありますか。
事務局	<p>1点目のマンション建設に伴う小学校建設については、現在、市としても新しい小学校を建設中です。ただ、1ヶ所に集中して若い世代が入ると、行政の対応が追いつかないところがありますので、行政として取り組めるところは一生懸命に取り組みますが、それ以上はなかなか対応しづらいところもあります。</p> <p>開発地域は転入が多いと思いますが、市全体としては、子どもの数が減っている部分もありますので、そういうところへの対応にも取り組んでいきたいと思っています。</p> <p>2点目の図書館については、図書館法によって有料にすることは定められていませんので、有料化はできません。ただ、貸し部屋の利用者には利用料金をいただいています。</p> <p>3点目の農林業の担い手の問題については、ご指摘のとおり、希望者が多いわけではありませんが、実際には希望される方もいますし、講習等を受けられている方もおられます。今後、市内での営農につながるよう、担当課で取り組んでいるところです。</p>
佐藤委員	<p>ありがとうございます。最近、和泉市のマンションに越してきた若い人に「なぜ、和泉市に転入して来たのか」と聞いたところ、「堺市や大阪市は不動産価格が高いが、和泉市は安いから良い」と言っていましたので、是非、マンション等をつくって、若い人を増や</p>

今川会長	<p>してほしいと思います。</p> <p>他にご意見はございますか。</p>
岡委員	<p>◆ P27とP28の修正の違いについて</p> <p>27 ページは、会長のご指摘で「公共施設等の適正配置に取り組みます」が「適正配置について検討・実施します」に修正されていますが、逆に、28 ページの「資産保有の最適化」は「検討・実施します」が「取り組みます」に修正されています。どのような違いになったのでしょうか。</p>
今川会長	<p>27 ページは「検討して実施する」という形で、「検討する」という言葉が入って慎重に実施するという表現に変わっただけです。適正配置ですから、適正配置をする前にきちんと検討してから実施するという意味です。</p> <p>問題があるようでしたら、元に戻しても差し支えありませんが。</p>
岡委員	<p>それについては、分かりました。</p> <p>全体に少子高齢化社会で人口が減っていく中で、実際に、ある人が近くに娘夫婦と孫が住んでいる3世代同居の状態、孫の保育園の通園を補助されていたのですが、その娘の家族がご主人の両親の方が面倒を見やすいということで河内長野の方に転居されてしまいました。直面した問題を解決する方法として、そういう方法を選ばれたと思いますが、なかなか入れない子どもの保育園を変えてまで引っ越されたということで、私は少なからずショックを受けました。</p> <p>今は若い人たちが来ることばかりをイメージしてしまっていますが、3世代同居・近居においては、「元気な高齢者」という目標を掲げている中で、元気でなくなった時にも施設等々を利用しながら近くできちんと見ていけるという安心も、人口が安定するために必要ではないかと思います。</p> <p>それで、介護施設等を見ますと、今ある介護施設は他市からも入れる施設がたくさんありますが、ミニ特養のように和泉市民でなければ入れない施設も少しずつ増えています。そういう点が安心につながり、同居や近居につながっていくのではないかと思います。</p> <p>ところが、「市民のニーズや利用需要の変化に適応した公共施設等の適正配置に取り組みます」と聞くと、「頑張ります」と聞こえていたものが「検討・実施します」となって後退したように受け取られたわけです。28 ページでは「検討・実施」が「取り組みます」になっているのに、どのように捉えたら良いのかと思い、お聞きしました。できれば、積極的に取り組んでいくと受け取られるようにしていただきたいと思います。</p>
今川会長	<p>これは修正も含めて検討させていただきますので、よろしく願いいたします。</p> <p>他に何かございますか。よろしいでしょうか。</p> <p>(意見等、なし)</p>

今川会長	<p>ご意見がないようでしたら、成案については、ご一任いただければと思います。今のご指摘を踏まえまして、事務局と調整を行いたいと思います。</p>
今川会長	<p>■ 答申案について</p> <p>それでは、次に答申案について、資料 7 の内容について事務局に説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(資料 7 答申案の鏡文について説明)</p>
今川会長	<p>ただ今の説明について、ご意見がございましたらお願いいたします。</p> <p>(意見等、なし)</p>
今川会長	<p>それでは、答申の様式につきましては、事務局案を基に作成して参りたいと思います。本日の案件は以上です。当初のスケジュールでは総合計画についても審議をスタートさせる予定でしたが、総合戦略と人口ビジョンについて、本日の意見を踏まえて、この後、成案を作成することとなりましたので、本日の審議はこれで終了させていただきます。それでは、最後に事務局から連絡をお願いします。</p>
事務局	<p>■ その他</p> <p>本日は、長時間にわたり、ご検討をいただきまして、ありがとうございます。</p> <p>会長におかれましては、本日の審議会でのご意見をとりまとめていただき、答申を作成していただくこととなりますので、短期間でのご依頼で恐縮ではございますが、よろしくお願いいたします。</p> <p>なお、「総合戦略及び人口ビジョン」の成案につきましては、委員の皆様へ郵送等によりましてご報告させていただきますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>次に、総合計画にかかる委員皆様からのご意見の提出につきまして、当初スケジュールでお示しさせていただきましたとおり、総合戦略の項目を除く「重点施策・定住の促進」にかかるご意見を 12 月 22 日(火)までに、また、総合戦略の項目を除く「重点施策・定住の促進」以外の重点施策にかかるご意見を来年の 1 月 20 日(水)までに、事務局までご提出くださいますよう、よろしくお願いいたします。</p> <p>また、「第 2 回 会議録(案)」につきまして、修正点等ございましたら、12 月 28 日(月)までに、ご連絡いただきますようお願いいたします。修正点等がなければ、会議録として確定させていただきます、ホームページ等で公表して参りたいと考えております。</p> <p>なお、本日の会議録につきましては、メール、郵送等でご連絡を差し上げたいと存じます。</p> <p>次回の会議は、来年 1 月 29 日(金)午後 2 時から、本日と同じ、この会議室で開催させていただきますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>委員皆様には、今後の審議会におきましても、ご協力賜りますよう、よろしくお願いいたします。</p>

今川会長	<p>事務局からは、以上です。</p> <p>今回は、「総合計画（案）」の「将来ビジョン」についてお諮りいたします。会議の進捗状況によっては、一部「重点施策」についても審議して参りたいと思います。委員皆様におかれましては、ご協力のほど、よろしくお願ひいたします。</p> <p>それでは、これにて、第3回和泉市総合計画審議会を終了いたします。どうもありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">以 上</p>
------	--